

（しなやかな回復力） レジリエンスとしての オンライン教育

—「学びを止めない」から「学びの拡張」へ—

「レジリエンス」とは、「困難な状況にも耐え、立ち直る力」という意味の用語で、現在、心理学、地域づくりなど幅広い分野で使用されている。

コロナ禍で閉鎖を迫られた学校は、オンライン教育により学びの継続を実現した。

今後のポストコロナの時代にオンライン教育はどのような役割を果たせるのか。

本講演では、日本語教育を中心に、レジリエンスとしてのオンライン教育の意義について考える。

保坂 敏子

日本大学大学院総合社会情報研究科教授



＜学 歴＞

1982年 西南学院大学文学部外国語学科フランス語専攻卒業
1988年 国立国語研究所日本語教育長期専門研修修了
1991年 国際基督教大学大学院教育学研究科博士前期課程
(教育方法学専攻視聴覚教育専修)修了(教育学修士)

＜職 歴＞

1991年 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター非常勤講師
1992年 早稲田大学国際部(現日本語教育研究センター)
非常勤講師
2004年 日本大学総合科学研究所助教授(研究所)
2014年 日本大学大学院総合社会情報研究科教授
2020年 学習院大学文学部非常勤講師

＜研究分野＞

映像メディアとICTを介した言語文化教育、日本語教育、教育工学

10月7日(土)
13:15～14:45

Zoomによるオンライン講座

【お問い合わせ・お申込み】

日本大学大学院総合社会情報研究科 公開講座事務局（研究事務課）

受講申込：本研究科ホームページにて受付

総合社会情報研究科 [検索](#)

